

請願書

令和8年2月10日 浜田市議会議長 様

紹介議員 森谷公昭

【請願名】

浜田市スケート場再配置計画における事務手続きの不備解消および市民との対話再開を求める請願

【請願の趣旨】

浜田市が進めているスケート場の機能転用(実質的な廃止)計画において、意思決定の根拠となったデータの正確性、および公文書の取り扱いを含む事務手続きに重大な疑念が生じています。また、浜田市協働のまちづくり条例が定める「市民の参加」と「市の説明義務」が果たされていない現状を鑑み、議会として以下の事項を市執行部(教育委員会)に求めることを請願いたします。

【請願事項】

1. データの正確性に基づく再検証の実施 当初、スポーツ推進審議会等において「施設適正数0」として議論が進められましたが、後に「1」に修正されています。根拠となる前提条件が変更された以上、当時の答申および現在の計画の妥当性を一度フラットに再検証すること。
2. 市民団体が提示した代替案の公平な比較検討 市民団体より提出された収支シミュレーション等の具体的な代替プランについて、市が保有するデータと公平に比較・検証し、その結果を市民および議会に誠実に説明すること。
3. 事務手続きの透明化と公文書の適正管理 外部委託(コンサルタント報告書)の作成過程における市からの修正指示の経緯、および納品日の事実関係と公文書訂正の不透明な処理について、事実関係を調査し、法令遵守(コンプライアンス)の観点から説明責任を果たすこと。

【請願の理由】

浜田市協働のまちづくり条例には、「市は、市民等の意見を把握し、施策に反映させるよう努めなければならない」とおよび「施策の立案、実施等の各段階において、市民等に対して誠実かつ分かりやすく説明しなければならない」と定められています。しかし、現状では市民からの具体的な提案(代替プラン)の検証を拒否し、さらには弁護士を代理人に立てることで直接の対話を断絶させるなど、条例の精神から大きく逸脱した状況が続いています。また、計画の根拠となるデータの変遷や、公文書の日付訂正といった事務上の不備を放置したまま計画を強行することは、将来にわたって行政への信頼を著しく損なう恐れがあります。以上のことから、開かれた市政と民主的な意思決定プロセスを取り戻すため、本請願を提出いたします。

請願者
(株)コムサクリ

